

教科名	家庭科	科目名	家庭総合	単位数	2単位
学年	第2学年		男子 9名	女子 4名	計 13名
教科担任氏名	川埜 絹子		使用教科書	実教出版	新家庭総合
科目の目標	人が生きるために、人間らしい生活とは何を食べて何を着てどう住まうか、どのような家族や地域をつくっていくか、そしてそれらに社会がどのように関係し、地球規模での環境問題や生活課題がどうつながっているのかを学び、自分の生活を自分でデザインできる力をつけます。21世紀に生きる私たちは持続可能な社会をつくるために、職業と生活のよりよいバランス、身近な生活問題と社会的な課題との関係を学び、一人ひとりの暮らしを大切にすることを実践的な態度を育てます。				

評価の観点	趣 旨	配 分
関心・意欲・態度	人が生きるために家族、家庭、子ども、高齢者、障害のある人とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組み、実践的な態度を身につけます。	25%
思考・判断	身近な生活課題を見つけ出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、創意工夫する力を身につけます。	25%
技能・表現	家族、家庭、子ども、高齢者とのかかわり、福祉、消費生活、衣食住等に関する技術を総合的に身につけます。	25%
知識・理解	家族、家庭、子ども、高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身につけます。	25%

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	技・表	知・理	評価方法
4月	6h	1人と関わって生きる 1)自分らしい生き方と家族 ①自分を見つめる ②自立した生き方、共に生きる人生	○	○	○	○	観察 レポート
5月	6h	③共に生きる家族 ④家族に関する法律	○	○	○	○	観察 レポート
6月	9h	⑤労働と生活時間 前期中間考査 ⑥調理の基本 第1回 調理実習	○	○	○	○	観察 小テスト 練習問題 レポート
7月	4h	2 生活をつくる 1) 食生活をつくる ①人と食物の関わり	○	○	○	○	観察 食生活調査
8月	4h	②私たちの食生活 ③栄養と食品の関わり	○	○	○	○	観察 レポート

月	時間数	学 習 内 容	関・意・態	思・判	技・表	知・理	評価方法
9月	7 h	前期末考査 ④食品の選び方	○	○	○	○	観察 レポート 小テスト 練習問題
10月	8 h	第2回 調理実習 ⑤食事の計画と調理	○	○	○	○	観察 レポート
11月	6 h	後期中間考査 3子どもとかかわる ①子どもを知る	○	○	○	○	観察 小テスト 練習問題 レポート
12月	4 h	②発達のすばらしさ 第3回 調理実習	○	○	○	○	観察 レポート
1月	4 h	③子どもの生活	○	○	○	○	観察 レポート
2月	6 h	④親になること 学年末考査 第4回 調理実習	○	○	○	○	観察 小テスト 練習問題 レポート
3月	6 h	⑤健やかに育つ環境 子どものおもちゃづくり	○	○	○	○	観察 作品